

参加無料

対面
オンライン
同時開催

関西学院東京丸の内キャンパス

タウンミーティング

平将明デジタル大臣と 「デジタル化の現状と今後の方向性」について議論しよう

日本の社会が急速にデジタル化されています。市民生活ではマイナンバーカードが一般化し、確定申告やパスポート申請などでもデジタル化が進んでいる。そうしたデジタル化の動きは、ビジネスの世界ともなると、浸透度合いはもっと急激です。オンライン会議は当たり前。契約書の精査もAIが行い、ちょっとした通訳やマーケティングなどは、すべて自動翻訳機能や自動演算機能が、人間に代替してやってくれる。人口減少社会を迎えるこれからの日本にとって、デジタル化は不可避の方向であることはまちがいないさそうです。

世の中、デジタル技術が進み、効率化が進めば進むほど、それらを使いこなす精緻な知識と能力が必要になり、そうした技術分野の能力格差が所得格差をも生み出して行きます。

今回の『丸の内キャンパス・タウンミーティング』は、こうしたデジタル化の現状と方向性について、平デジタル担当大臣と直接質疑させていただき、そんな機会を創出してみようとの思いで企画、平大臣のご厚意もあり実現しました。

企画監修/司会: 鷲尾 友春



デジタル大臣 平将明

衆議院議員（7期）、現在、デジタル大臣、デジタル行財政改革担当大臣、行政改革担当大臣、国家公務員制度担当大臣、内閣府特命担当大臣（規制改革）、サイバー安全保障担当大臣。早稲田実業中高・早稲田大学法学部卒業。大田青果市場仲卸三代目、東京青年会議所理事長、慶應義塾大学大学院講師、経済産業大臣政務官、内閣府副大臣（防災、IT政策、宇宙政策、科学技術イノベーション政策、クールジャパン戦略、地方創生、国家戦略特区等担当）などを歴任。



■司会・モデレーター 関西学院大学フェロー 鷲尾友春

関西学院大学商学部卒。1970年ジェトロ入会。ニューヨークとシカゴに駐在し、北米担当事業主幹や映像チーム総合プロデューサーなどを歴任。シカゴセンター所長、海外調査部長、理事（アジア、オセアニア担当）、特別顧問（調査部付）を経て、2010年関西学院大学国際学部教授。2016年退官。

■ 日 時

2025年5月19日(月)
18:30～20:30(120分)

■ 参 加 費

無料 (要申込)

■ 会場・定員 (先着順)

関西学院東京丸の内キャンパス
Zoomオンライン
対面 40名、オンライン 100名

■ 申込締切

2025年5月18日まで

■ お申込み

関西学院東京丸の内キャンパスホームページから
申込。詳細をご確認ください。



関西学院東京丸の内キャンパス

(担当: 木村)

TEL 03-5222-5678 (平日10:00～18:00)

Email open-seminar-tk@kwansei.ac.jp